# 杉並のボランティア情報紙



2023

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。



「杉並災害ボランティアの会」は、発災時に杉並区災害ボランティアセンターの運営を サポートするため、災害支援に関わるボランティア活動やネットワーク作りを行っています。

杉並災害ボランティアの会 【特集】

くにあき ただ 代表 多田

やましろ 副代表

たかもり

隆盛さん(写真後列左)

邦晃さん (写真後列中央)

山城

たくし 拓志さん(写真前列左)

はたの秦野 (写真後列右)

公美子さん(写真前列右)

3面・・・チャレンジ!ボランティア ご案内

使用済み切手の報告

4面・・・令和5年度地域福祉活動費助成金 団体決定

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、 宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。 いつもご協力ありがとうございます。

# 【特集企画】 災害に備える

## ~地域活動から取り組む災害支援~

「杉並災害ボランティアの会」(以下「SSV」)は、 杉並区社会福祉協議会(以下「社協」)が開催する「災 害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座」の修了 生や、SSVの趣旨に賛同したメンバーからなる任意団体 です。杉並区で災害が発生した際に社協が設置する杉並 区災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)の運営 への協力・支援を目的としています。日頃から会員同士 のネットワーク作りを目指し、各種研修や勉強会、訓練 に参加しながら、災害支援に関わるボランティア活動を 行っています。

### 活動のきっかけと主な活動内容

東日本大震災をきっかけにはじまった「災害VC 運営スタッフ養成講座」の修了生が有志で集まり、 2015年からSSVの活動が始まりました。

SSVは、発災時に社協が設置する災害VCの立ち 上げやボランティア希望者の受け入れの他、被災 者の困りごとのマッチング等を社協職員と一緒に スタッフの一員として行います。また、被災地で の支援活動や、社協とともに災害VCの運営訓練、 勉強会、防災の目線で居住地域を歩く「防災まち あるき | 等、有事に備え活動を行っています。な お、福島県南相馬市では仮設住宅の支援活動を きっかけに、10年以上経過した現在も有志で毎 年のように訪問し、住民と交流を続けています。

これからも多くの人に意識をもってもらう取り 組みを、SSVでは行っていきたいです。



▲被災地での支援活動(千葉県館山市 ) 2019年

## 防災に大切な「つながり」「支えあい」

防災は備蓄など物に対する備えも大事ですが、 人のつながりも大切になってきます。例えば、被 災地へ訪問して出来たつながりにより、被災者が 経験してきたことを、自分の地域に活かすことが できます。また、自分の居住地が被災した時には、 被災を経験した地域の方々が支援にかけつけてく れることもあります。

災害時には一人の力では復興できず、それぞれ の出来ること、得意なことを活かした総合力が必 要になります。日々の支えあいが、災害などの大 きなピンチの時に役立つと思います。

関東大震災から今年で100年。 【特集企画】災害に備える ~地域活動から取り組む災害支援~では、災害に対する取 り組みや工夫をしている団体をご紹介し、読者が災害に備 えるヒントとしていただきたいと考えています。今回は

「杉並災害ボランティアの会」代表・多田邦晃さんにお話 をうかがいました。また、**副代表の山城隆盛さん、役員の 秦野博則さん、今野公美子さん、工藤拓志さん**からも活動 に対する想いを話していただきました。

### 私たちに今、できること

「今、地震が起きたら」「洪水が起きたら…」 と電車の中や会社、エレベーターの中にいるとき 等に想像し、シミュレーションしてみることも大 切です。また、区内でも総合震災訓練や震災救援 所の訓練、区民センターのイベント、防災まちあ るき等、様々な取り組みが行われています。まず は何かに参加してみることが、地域で行う防災の 一歩になります。

隣近所とのつながりはもちろん、SNS(※)等を介 して離れた場所の人ともつながれる現代では、家 族・親戚以外にもつながりを作っておくと、お互 いを心配したり助け合いにつながっていきます。

(※)フェイスブック等のインターネット上で個人がつながれるサービス





▲災害VC立ち上げ・運営訓練(左)と杉並区総合震災訓練(右)の様子

### 読者の皆さんへ

災害ボランティアは泥出しやがれきの撤去等の 力仕事をするイメージが強いですが、炊き出し等 の生活支援、足湯や子どもたちへの読み聞かせと いった交流支援もあり、まちの復興状況や被災者 の生活状況によって、支援内容も変化していきま す。また、被災直後だけでなく、心のケア等は長 期にわたって必要となってきます。復興の過程に おいても、継続して寄り添い続けていくことが必 要です。

災害は誰にでも降りかかってくるものなので、 関心を持ち、自分のこととして考えてほしいです。 また、誰にでも関係があるからこそ、共感しやす い面があります。近隣や会社の人等、老若男女を 問わず、災害や防災について共に考え意見交換す

ることで、地域でのつ ながりが生まれます。 その「つながり」が孤 立等、地域の困りごと の解決になる事もある のです。 交流会を伝える▶

新聞記事(福島民友)

## 杉並災害ボランティアの会

HP: https://ss-volunteer-no-kai.jimdofree.com フェイスブック:https://ja-jp.facebook.com/ssv.kai

## 募集!

# 地域とつながろう講座 ~チャレンジ!ボランティア~ 「集いの場からはじめる地域デビュー」

地域住民が気軽に集まれる集いの場(居場所)。「居場所って何だろう」「どうして地域に居場所が必要なのか」「自分ができる居場所づくりは?」 実際に居場所を立ち上げ、運営をしている方からお話を聞いたり、活動のための講座を開催します。

時間があるので何ができるか一緒に考えたい、趣味や特技を生かして地域の役に立ちたい、など地域活動に興味があり、2回とも参加できる方を募集いたします。

日時 令和5年6月 8日(木)14:00~16:00 令和5年6月22日(木)14:00~16:00

内容 1日目:居場所・集いの場づくりについての講座

活動者からのお話し

講師:世田谷地域デビューの会 真貝高三氏

2日目:活動紹介•説明

講師:杉並区社会福祉協議会職員 ほか

対象 区内在住、在学、在勤の方 左記2日間共に参加できる方

定員 15名程度 ※申込多数の場合は抽選

申込 杉並ボランティアセンター

TEL: 03-5347-3939

: https://forms.gle/5NSEe8AN5dvGLXHs7

電話、E-mail、または申込フォームにて。

氏名(フリガナ)、 住所、電話番号、 E-mail、年齢、 志望動機を記入し**5/31**まで



# ご報告



令和4年度(4月1日~3月31日)に区民の皆さま、団体や関係機関から使用済み切手のご寄附をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

また、ご寄附いただいた使用済切手は、切手整理ボランティア の方々に整理していただいています。

寄付件数:のべ約 264件(個人・団体含む)

収益金:55,100円

切手整理ボランティア参加者数:のべ100人

収益金は地域福祉のために活用します。 引き続き、切手回収のご協力をお願いいたします。



使用済み切手

◀ 使用済み切手

購入した方が 作成した切手アート▶ (ウェルファーム杉並 4階交流スペースに 展示中)



(毎月第3水曜 14:00~16:00に活動)

ようこそ!

きずなサロン Vol.2

井草地区

### ◆きずなサロン

### カフェはなかいどう

•活動場所:下井草二丁目

(詳細はお問合せください)

- •活動日時:毎月第4火曜日10:00~12:00
- 活動内容:暮らしに役立つ情報や楽しい 企画をご用意しています。お気軽にどうぞ!

•協力金:100~200円



★「きずなサロン」は地域の方々がふれあい、 交流する場です。世代を問わずみんなで集まり、 支え合える関係ができることが期待されています。

きずなサロンについては、**杉並区社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉推進係へ**お問い合わせください。 TEL:03-5347-1017 ホームページ

https://sugisyakyo.com/suishin/kizuna.html

ボランティア募集中!





# 令和5年度

杉並区社会福祉協議会では**「地域福祉活動費助成金」**を通して、地域活動を資金面でも応援しています。 助成金は、**地域の方からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金**が原資になっています。 杉並で集まった募金で杉並の地域福祉活動を元気にしていきます。

令和5年度の決定団体はチャレンジ応援助成11団体、定例活動活性化助成7団体、全体で18団体となりました。 今後、団体の活動の様子もボランティアセンターの情報紙「ボラン・て」やホームページでお伝えしていきます。

◆助成金は2種類あります。

【チャレンジ応援助成】・・・新規の活動を応援するための助成金

【定例活動活性化助成】・・・既存の活動を活性化するための助成金

### 【チャレンジ応援助成】 助成金合計:2,903,000円

団体名	事業名
①こどもと笑顔with	杉並つながるミーティング
②風のとびら	自死遺族ケア事業 フレディの会
③音楽とお話の会 「レェッヒェルン」	レェッヒェルン みんなのコンサート
④きょうだい児と家族の応援団 にじいろもびーる	きょうだいさんの広場
⑤和泉第二町会	和泉防災コミュニティー顔の見える街づくり〜ユニバーサル野球を楽しもう〜
⑥杉並・ワーカーまちの縁がわ上井草	すてっぷ&すきっぷ まちのほっとスペース推進事業
⑦みんなで子育てぴかふろーる	「助産師デイ」にあつまろう
®NPO法人 サイン	子どもの食育教室事業『サイン食育Labo』
⑨特定非営利活動法人 みかんぐみ	文化活動を通じた重度障害児・者と一般区民との交流プロジェクト
⑩特定非営利活動法人 ゆるゆるma~ma	みんなのいばしょ 東原Pタイム
⑪視覚障害者支援総合センター就労継続支援B型チャレンジ	バリアフリー上映会『こころの通訳者たち』

### 【定例活動活性化助成】 助成金合計:767,000円

団体名	事業名
①フリーランス杉並家族会	ひきこもり・発達障がい地域支え合い事業
②NPO法人こだまの集い	育児と介護の両立について語ろう!
③認定NPO法人ももの会	だれでもカフェ〜ももふらっと
④ふらり赤い椅子	ふらり赤い椅子プロジェクト
⑤宮前まちづくりの会	宮前まちづくりの会(地域貢献活動)
⑥『上井草結いの会』	親子で農業体験
⑦杉並家族会	勉強会(講演会)



## 杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行:社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会 杉並ボランティアセンター

杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階 **〒167-0032** TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: https://borasen.jp/

うぇるくん

8:30~17:00

\*祝日・年末年始はお休みです。

開所時間:火~土曜日